

+
保健師
一口メモ



健康支援課
☎973-3209



防げる事故から 子どもを守ろう!!

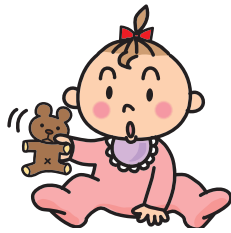


元気いっぱい、日に日に成長していく子どもたち。今日はどんないたずらをしてくれるかな…楽しみだけど、ちょっとした心配!子どもの思わぬ行動は、大きな事故につながってしまつこともあります。

子どもの死因の上位に「不慮の事故」があります。今月は、子どもの事故予防について考えてみましょう。

☆子どもの発達に応じた対策を

「昨日できなかったことが、今日できるようになる」のが子ども。子どもの発達段階を知れば、行動パターンを予測できます。そのうえで、起こりやすい事故の防止策を立てましょう。



子どもに多い事故の大半は、保護者や周りの大人が目を見守らない等の注意や、安全な環境作りによって防ぐことができます。

☆家庭内の事故予防

【寝室】

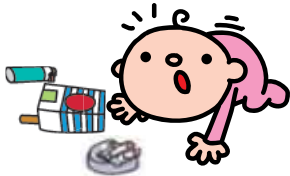
- ◆ やわらかい布団での窒息に注意。
- ◆ 寝返りをうつつようになる、ベビーベッドやソファなどから転落する事故が多くなります。ベッド柵を必ず上げましょう。

【お風呂場・洗面所】

- ◆ 浴槽、洗濯機、バケツ、洗面器にたまった水で滑りやすい水でも溺れてしまいます。お風呂場は外力ギをつけるなどの工夫を。
- ◆ 歯ブラシをくわえたまま転倒すると危険です。口に物をくわえて歩きまわることのないようこまめにチェックしましょう。

【キッチン・リビング】

- ◆ たばこや灰皿代わりにした空き缶など誤飲することがあります。手の届くところに置くのは危険です。



- ◆ 危険な場所がある場所（冷蔵庫、棚、電気ポット、炊飯器など）は、開け

られないよう工夫をしましょう。

- ◆ テーブルクロスや電気コードを引っ張ってやけどをする事故があります。テーブルクロスは使用せず、余分なコードは巻き取っておきましょう。

- ◆ コンセントに物を入れ、感電事故を起こしたり、小さな隙間に指や手を挟む危険性があります。市販のコンセントカバーや隙間防止カバーをすなど工夫をしましょう。

【階段・玄関・ベランダ】

- ◆ 転落の危険があります。柵を付けたら、踏み台になるようなものは置かないようにしましょう。

☆家庭の外での事故予防

【外出先やレジャーで】

- ◆ クーハンで持ち手がすべて転落する事故がたまります。取扱いには注意しましょう。
- ◆ 道路や駐車場での飛び出し防止に、手を繋ぎましょう。

- ◆ 水遊びは必ず大人が付き添いましょう。

子どもの急な病気に困ったら、まず

小児救急電話相談

受診した方が良いのか、様子を見ても大丈夫なのか、看護師や医師が電話でアドバイスします。

フッシュ回線の固定電話・携帯電話からは、局番なしの

#8000

- ◆ ダイヤル回線、#8000をご利用いただけない地域からおかけの場合は 電話：098-888-5230
- ◆ 相談日時：毎日 午後7時～午後11時